

SGH講演会・意見交換会③（原爆後障害医療研究所）

6月20日（火）、長崎大学原爆後障害医療研究所の高村昇先生をお招きし、～グローバルヘルスとコミュニティヘルス～というテーマでご講演いただきました。チェルノブイリ原発事故後の活動と福島での活動など、先生の経験を実例を交えながら高1生にもわかりやすく説明していただきました。講演後は活発に質問がなされ、高村先生には大幅に時間をオーバーしながらも、一つ一つ懇切丁寧に答えていただきました。



SGH講演会・意見交換会④（工学部）

6月21日（水）、長崎大学工学部の板山朋聡教授をお招きし、「東南アジアと東アフリカにおける水環境の問題と対策」というテーマで講演会・意見交換会を行いました。講演会では、私たちの生活に水はいかに必要なものか、身近な長崎からアフリカまで様々な地域における水環境の問題点や対策などについてわかりやすく説明していただきました。講演後も生徒は自らの課題研究についての疑問点を質問するなど、充実した講演会・意見交換会になりました。



SGH講演会・意見交換会⑤（水産学部）

6月22日（木）、長崎大学水産学部の桑野和可教授をお招きし、「磯焼け・水産学の視点から疑問の発見をねらいに」というテーマで講演会・意見交換会を行いました。講演会では、先生の研究テーマ「磯焼け」について、具体的な仮説を挙げながら、疑問点への迫り方を丁寧に示してくださいました。生徒たちは、身近な長崎の海の問題を知るとともに、「『それは本当か?』という視点を常に持つ」という課題研究の基本的な姿勢を学ぶことができました。意見交換会では、複数の班が自分たちのテーマについて具体的なアドバイスをいただき、質問した班以外でも多くのヒントを得ることができ、本当に充実した会になりました。

